

～突撃★ドメーヌ最新情報！！～

◆VCN°23 ジャン・フォワイヤール

生産地方：ボジョレー

新着ワイン2種類♪

AC ボジョレー・アリザリーヌ 2016 (赤)

2016年は、一部雹の被害に遭い収量は30%減。だが、ジャン曰く、収穫したブドウはきれいで中身も凝縮していたとのこと！当初は春向けのワインとして3月にリリースする予定だったが、アルコール感が少し強かったため、角が取れるまで熟成に時間をかけ丁寧に仕上げている！ワインは、果実味がしっとり艶やかで、ジュースーさとスパイスーさの両方を兼ね備えたボリューム豊かな味わい仕上がっている！サラミやチョリソーをつまみながらアペリティフ代わりに利用するにはもってこいのワインだ！

AC モルゴン・レ・シャルム エポニム 2014 (赤)

ジャン曰く、2014年は前年同様に厳しい年だったが、ワインの完成度は高く、「これぞシャルム！」というクリマの特徴が良く出た味わいに仕上がっているとのこと！ちなみに、彼の言うシャルムの最大の特徴はエレガントな果実味！モルゴンの中で一番果実味がエレガントと言われているが、確かに今回のシャルムは果実味が艶やかでとても官能的！アフターを締める繊細なミネラルも心地よく、ジャンがモルゴンの中で最も好きなクリマというのも良くわかる！

ミレジム情報 当主ジャン・フォワイヤールのコメント

2014年は、2013年同様に難しい年だった。スタートは全て順調で、開花も例年より3週間も早く、雨が降らないことが少し心配なくらい天気恵まれていた。だが、7月に入り一転、気温も低く1日おきに雨が降るような不安定な天候が8月終わりまで続いた。夏らしい日がほとんどなく、ブドウの成長にもブレーキがかかり、毎日がベト病対策に追われる日々だった。このまま行くとブドウが未熟のまま収穫に入らざるを得ないと半ば絶望的だったが、9月に入り再び天気が戻ってきた。夏が遅れたようにやって来て、ブレーキのかかったブドウも全てみごとに熟し、最終的に傷のないきれいなブドウを収穫することができた！

2016年は、暖冬からスタートしたが、3月から天候が一転、気温の上昇しない雨がちな日々が6月いっぱいまで続いた。そのため、春はミルデュー対策のためボルドー液の散布を頻繁に行った。加えて、5月28日と6月24日に猛烈な勢いで雹が降り、コルスレットとフルーリーに大きなダメージがあった。ランシエにある一部の区画が壊滅的だったが、その他大部分の区画は辛うじて難を逃れることができた。夏に入っても雨が1日おきに降るような不安定な天候が続き、晴れている時は30度を超え、雨が降っている時は20度を下回るような極端な温度差があり、繁殖の好条件が整ったミルデューが再び猛威を振るった。この時点でブドウは30～60%減。だが、8月中旬から一転、天気が安定し、再び暑い日差しが戻ってきた。9月も総じて天気に恵まれたのに加え、収穫直前に適度な雨も降ってくれたおかげで、果汁をたっぷりと含んだブドウを取り込むことができた！

「ヨシ」のつ・ぶ・や・き



写真①アリザリーヌから見たフルーリーの丘

これはアリザリーヌの畑からフルーリーの丘を取った写真。（写真①）遠くに見える丘がフルーリーの丘で、丘の上に見えるのがフルーリーのシンボルであるマドンヌのシャペルだ。今年は7月10日と31日に2年連続となる大規模な雹がフルーリーを襲い壊滅的な被害をもたらした。手前のアリザリーヌが濃い緑の畑なのに対し、フルーリーの丘は緑がなく禿山のように茶色く焼けたようになっている。ジャンのフルーリーの畑も100%被害に遭い、2016年、2017年と2年に渡りワインのない…。



写真② アリザリーヌの畑（雹害はほぼ無

一方、フルーリーの丘から3 kmも離れていないアリザリーヌの畑は辛うじて難を逃れたようだ。（写真②）ちなみに、ここ一帯は、去年はギリギリ雹が当たり30%の被害を出している。当たった雹が小粒だったのか、葉が少し破れている程度で、幸いブドウへの損傷まで至っていない。ジャン曰く、これから収穫前にもう一度土起こしをして雑草をきれいに抜き、収穫に備えるのだそうだ。



写真③ バッタ（写真中央）

今回、畑に入って気になったのが、バッタが畑に大量発生していたことだ。（写真③）畑に一歩足を踏み入れるごとに10匹以上のイナゴのようなバッタが一斉に飛び跳ねる！小さい頃バッタ好きだった私もさすがにちょっと怖くなるくらいの量だ。ジャンの畑には毎年訪れているが、こんなにも多くのバッタに遭遇したのは今回が初めて！たまにニュースで「大量のイナゴが農作物を食い尽くす！」なんていう被害を聞いたりするので、ブドウも心配になってしまう…

（2017.8.1.のドメーヌ突撃訪問より）

※弊社HP「フォト・ギャラリー」より、カラーでサイズの大きい鮮明な写真をぜひご覧くださいませ